

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータ実習Ⅱ		動物看護総合学科/2年	2019/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	合田 千佳(実務経験あり)

## 授業の概要

・情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン演習を通し、パソコンの基本操作を学び、表計算ソフト(Excel)のデータ集計機能、グラフ作成機能、データベース機能を利用し、わかりやすい集計資料などの作成能力を養う

## 【実務経験】合田 千佳

・ユーザ教育・社内教育担当として2年の実務経験  
これまでのユーザ向けや社内向け講座の企画立案から準備・実施・フォローの経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する

・専門学校講師として21年の実務経験  
これまでの様々なIT資格やビジネス資格取得教育担当や職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成する職業教育担当経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する

・営業事務として2年の実務経験  
これまでのMicrosoft Officeを用いたデータ分析資料や財務資料、プレゼンテーション資料、ビジネス文書作成などの経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する

## 授業終了時の到達目標

- ・Excel表計算処理技能認定試験3級(サーティファイ) 合格
- ・Excelを用いて簡単な集計表やデータベース、グラフを作成することができる

回	テーマ	内容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の目的、評価方法</li> <li>Windowsの基本操作</li> <li>1. Excelの基本</li> <li>2. データの編集</li> <li>7. 関数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※授業の目的と評価方法の説明</li> <li>Windowsの概要、基本操作(アプリ操作、エクスプローラ)について理解する</li> <li>Microsoft Officeの概要、各ソフトの特徴、Excelの起動・終了、Excelの画面構成</li> <li>データの入力、データの移動とコピー、数式の入力、ブックの保存</li> <li>統計関数(SUM関数・AVERAGE関数・MAX関数・MIN関数)</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>2. データの編集</li> <li>3. 表の編集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絶対参照と相対参照、オートフィル</li> <li>罫線、セルの書式設定、セルの配置、表示形式の設定、列幅や行の高さの調整、行や列の挿入と削除</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>Excel表計算処理技能認定試験3級問題集</li> <li>3級練習問題1、2の問題1と問題2部分の答練</li> <li>7. 関数</li> <li>6. ブックの利用と管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する</li> <li>統計関数(COUNT関数・COUNTA関数)</li> <li>数学/三角関数(ROUND関数・ROUNDUP関数・ROUNDDOWN関数)</li> <li>ワークシートの管理(シート名の変更)</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>7. 関数</li> <li>6. ブックの利用と管理</li> <li>5. グラフと図形の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>統計関数(RANK. EQ関数・RANK. AVG関数)</li> <li>論理関数(IF関数・OR関数・AND関数)</li> <li>日付関数(TODAY関数)</li> <li>ワークシートの管理、ウィンドウの操作</li> <li>グラフの作成、グラフの編集、図形の作成</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>Excel表計算処理技能認定試験3級問題集</li> <li>3級練習問題1、2の問題4部分の答練</li> <li>8. データベース機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する</li> <li>リストの作成、並べ替え、データの抽出、テーブル機能</li> </ul>

回	テーマ	内容		
6	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題1、2の問題3、5部分の答練 4. ブックの印刷	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する  ページ設定の変更、印刷の実行、印刷範囲の指定		
7	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題3の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する		
8	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題1の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる  2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
9	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題2の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる  2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
10	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題3の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる  2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
11	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題4の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
12	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題5の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる  2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
13	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題6の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる  2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
14	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題7の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
15	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級サーティファイHPからダウンロードしたサンプル問題の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Excel2016クイックマスター基本編(ウィネット) Excel表計算処理技能認定医試験3級問題集(サーティファイ)		検定結果 課題・レポート 出席率	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅲ		動物看護総合学科/2年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	三村 梨恵(実務経験あり)
授業の概要				
<p>ビジネス文書検定3級取得を目標 併せて社会人として必要なマナーについて学ぶ</p> <p>【実務経験】三村 梨恵：一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年 トリマーとして12年の実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、 学生が実践しやすいような授業をする。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>ビジネス文書検定3級合格 社会人として必要なマナーを身につける</p>				
回	テーマ	内容		
1	授業説明	検定の説明・申込書記入		
2	I表記技能			
3	I表記技能			
4	I表記技能			
5	I表記技能			
6	I表記技能			
7	I表記技能	過去問題		
8	I表記技能	過去問題		
9	II表現技能			
10	II表現技能			
11	II表現技能			
12	II表現技能			
13	II表現技能			
14	II表現技能	過去問題		
15	II表現技能	過去問題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ビジネス文書検定 3級 受験ガイド		期末試験 授業態度 出席率 課題・レポート	60.0% 20.0% 10.0% 10.0%	検定結果を期末試験の代わりとします。  <b>【準備学習】</b> 次回の授業内容を踏まえて、テキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅳ		動物看護総合学科/2年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	三村 梨恵(実務経験あり)

## 授業の概要

就職した際に必要な文書の知識を身につける

【実務経験】三村 梨恵：一般企業で接客業（ショールームアドバイザー）として1年  
トリマーとして12年の実務経験  
接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、  
学生が実践しやすいような授業をする。

## 授業終了時の到達目標

ビジネス文書検定3級合格

回	テーマ	内容
1	Ⅲ実務技能	
2	Ⅲ実務技能	
3	Ⅲ実務技能	
4	Ⅲ実務技能	
5	Ⅲ実務技能	
6	Ⅲ実務技能	過去問題
7	Ⅲ実務技能	過去問題
8	過去問題	
9	過去問題	
10	過去問題	
11	過去問題	
12	過去問題	
13	過去問題	
14	過去問題	
15	過去問題	

回	テ ー マ	内 容		
16	確認テスト			
17	確認テスト解説 過去問題			
18	過去問題			
19	過去問題			
20	過去問題			
21	検定解説			
22	マナー			
23	マナー			
24	マナー			
25	マナー			
26	マナー			
27	マナー			
28	マナー			
29	マナー			
30	マナー			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ビジネス文書検定受験ガイド3級		期末試験 授業態度 出席率 課題・レポート	60.0% 20.0% 10.0% 10.0%	検定結果を期末試験の代わりとします。 <b>【準備学習】</b> 次回の授業内容を踏まえて、テキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ペット美容学 I		動物看護総合学科/2年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀(実務経験あり)
授業の概要				
座学 実技  実務経験 吉本 真紀: トリマーとして26年 これまでの経験を生かし授業を展開した同時にライセンス試験のための対策も行う。				
授業終了時の到達目標				
一般社団法人 全国動物専門学校協会 サロントリマー3級取得				
回	テーマ	内容		
1~ 2	プードルケネル&ラム	クリッパー実演		
3~ 5	プードルケネル&ラム講義	全体の切り方の注意事項の説明		
6~ 7	プードルマイアミ	絵を書く カットの説明		
8~ 9	プードルボレロマンハッタン	絵を書く カットの説明		
10~ 11	サロントリマー 3級試験対策	過去問題を解きながら対策		
12~ 13	今までのおさらい	仕事で使う事例でのおさらい		
14~ 15	スタンダードに基いて考えるトリミング	骨格などの説明		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKCドッググルーミングマニュアル		期末試験	100.0%	授業前に過去問題を復習すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物繁殖学		動物看護総合学科/2年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀(実務経験あり)
授業の概要				
講義				
実務経験 トリマー、ブリーダー歴26年の経験を生かして繁殖の心得と大事さを教える				
授業終了時の到達目標				
繁殖に関するモラルとノウハウを身につけ またペット業界の現状を知るため				
回	テーマ	内容		
1	繁殖とはなにか	ブリーダーとしての心構えを身につける		
2	血統書の作り方	血統書の価値をよく知ること		
3~4	繁殖の方程式を理解する	計画繁殖をするために		
5~6	交配に関して	交配の時期や交配の仕方について		
7~8	出産までの流れ	交配から出産直前までの流れを説明		
9~10	出産に関して	出産の立ち会い方		
11~12	子犬の健康維持について	生まれてきた子犬の管理方法の説明		
13~14	離乳期の飼い方	離乳食の与え方		
15	子犬の譲渡の仕方	子犬を人に譲渡するときの注意事項		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
パワーポイント		期末試験	100.0%	事前学習 前回の授業の内容を熟読すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トリミング実習BASIC I		動物看護総合学科/2年	2019/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120時間)	必須	吉本, 山地, 森, 三村, 竹川 (実務経験あり)
授業の概要				
1年次のグルーミング実習の復習とスピードアップ 部分的・簡易的な全身カットに必要な、トリミング技術を学ぶ				
<p>【実務経験】</p> <p>吉本真紀 トリマーとして26年  森 純子 トリマーとして13年  三村梨恵 トリマーとして12年  竹川陽貴 トリマーとして11年  山地香里 トリマーとして2年</p> <p>豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる</p>				
授業終了時の到達目標				
ペット技能検定協会 トリマー2級合格 2時間以内にグルーミング作業を終わられるようになる				
回	テーマ	内容		
1～60	基礎	1年次の復習とスピードアップ 部分的なカットを学ぶ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
プロが教えるベストトリミング ドッググルーミングマニュアル		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	【準備学習】 実習にあたりシ ザーの練習や美容 学の復習をしてお く



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トリミング実習BASIC II		動物看護総合学科/2年	2019/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120時間)	必須	吉本, 山地, 森, 三村, 竹川 (実務経験あり)
授業の概要				
<p>グルーミング作業の効率・スピードUPを目指す 全身カットに必要な、トリミングの基礎を身に付ける</p> <p>【実務経験】 吉本真紀 トリマーとして26年 森 純子 トリマーとして13年 三村梨恵 トリマーとして12年 竹川陽貴 トリマーとして11年 山地香里 トリマーとして2年</p> <p>豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし 学生のロールモデルとなる</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>トリミング2級試験合格 全身カットができるようになる 犬に負担をかけないような、丁寧な扱いができるようになる</p>				
回	テーマ	内 容		
1~30	基礎 部分的な、簡易カットの取得	お尻・顔等の部分的なカットとバリカンを使用した簡易的なカットの習得		
31~60	基礎 全身カットの開始	バリカン・シザーを使用した全身カット(ペットカット)を開始		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新ドッググルーミングマニュアル		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	【準備学習】 実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物飼養管理学Ⅲ		動物看護総合学科/2年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	齋藤 小百合(実務経験あり)
授業の概要				
動物関係法令や動物愛護運動史、保護衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に修得・普及する指導員を養成する。 【実務経験】 齋藤小百合: 動物看護師として7年の実務経験。これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する				
授業終了時の到達目標				
愛玩動物飼養管理士一級の取得				
回	テーマ	内 容		
1~2	第1編 動物愛護論Ⅱ 日本における動物愛護運動の歴史と展望	第1章 日本における動物愛護運動の起こり 第2章 第二次世界大戦後の動物愛護運動		
3~4	第1編 動物愛護論Ⅱ 日本における動物愛護運動の歴史と展望	第2章 第二次世界大戦後の動物愛護運動 第3章 動物愛護の今後の展望		
5~6	第2編 動物関係法令	第1章 動物と法律		
7~8	第2編 動物関係法令	第2章 飼養動物と関係法令		
9~10	第2編 動物関係法令	第3章 野生動物と関係法令		
11~12	第2編 動物関係法令	第3章 野生動物と関係法令		
13~14	第3編 動物の行動と社会	第1章 行動とは何か、社会とは何か		
15~16	第3編 動物の行動と社会	第6章 犬と猫の行動と社会		
17~18	第3編 動物の行動と社会	第7章 問題行動とその予防と対処		
19~20	第4編 犬と猫の栄養学	第1章 栄養素とその機能		
21~22	第4編 犬と猫の栄養学	第2章 犬と猫が必要とするエネルギーと栄養素		
23~24	第4編 犬と猫の栄養学	第3章 ライフステージと栄養		
25~26	第4編 犬と猫の栄養学	第4章 犬と猫のペットフードの進展		
27~28	確認テスト①	過去問題を解いて解説する		
29~30	確認テスト②	過去問題を解いて解説する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物飼養管理士一級第1巻		期末試験	100.0%	【事前学習】 前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物飼養管理学Ⅳ		動物看護総合学科/2年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	齋藤 小百合(実務経験あり)
授業の概要				
動物関係法令や動物愛護運動史、保健衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に習得・普及する指導員を養成する 【実務経験】 齋藤小百合：動物看護師として7年の実務経験。これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する				
授業終了時の到達目標				
愛玩動物飼養管理士1級の取得				
回	テーマ	内容		
1~2	第Ⅴ編 動物の遺伝と繁殖生理	第1章 動物の遺伝と繁殖生理 第2章 動物の繁殖生理		
3~7	第Ⅵ編 動物の疾病とその予防	第1章 動物の疾病とその予防		
8~10	第Ⅵ編 動物の疾病とその予防	第2章 犬の疾病とその予防		
11~12	第Ⅵ編 動物の疾病とその予防	第3章 猫の疾病とその予防		
13~14	第Ⅵ編 動物の疾病とその予防	第4章 その他の哺乳類の疾病とその予防		
15	第Ⅶ編 動物の飼養管理と公衆衛生	第1章 人と動物の共生に必要な公衆衛生の課題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物飼養管理士1級教本(上・下)		期末試験	100.0%	【事前準備】前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	
トレーニング実習Ⅲ		動物看護総合学科/2年	2019/前期	実習	
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分	15回	1単位(30時間)	必須	村尾 智(実務経験あり)	
授業の概要					
犬の集中力・正確さをやしなう					
【実務経験】 トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること					
授業終了時の到達目標					
脚側歩行訓練ができるようになる					
回	テーマ	内容			
1~5	クリッカー集中	クリッカーを使ったトレーニング			
6~10	脚側行進中の伏臥	正しい位置での伏臥			
11~15	脚側行進中の停座	正しい位置での座れ			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
		実習・実技評価	100.0%	【準備学習】テキストを読んで予習をしておく	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	
トレーニング実習Ⅳ		動物看護総合学科/2年	2019/後期	実習	
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分	15回	1単位(30時間)	必須	村尾 智(実務経験あり)	
授業の概要					
犬の集中力・正確さをやしなう					
【実務経験】 トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること					
授業終了時の到達目標					
脚側歩行訓練ができるようになる					
回	テーマ	内容			
1~5	クリッカー集中	クリッカーを使ったトレーニング			
6~10	脚側行進中の伏臥	正しい位置での伏臥			
11~15	脚側行進中の停座	正しい位置での座れ			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
		実習・実技評価	100.0%	【準備学習】テキストを読んで予習をしておく	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
臨床動物基本講座Ⅲ		動物看護総合学科/2年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位(90時間)	必須	荒岡 杉(実務経験あり)

## 授業の概要

動物の生命維持のしくみと解剖学、および生理学の基礎を知り、生命体としての動物を理解できるようにする。動物看護において、動物がどのような状況にあり、どのような看護が必要かを知るために病変の特徴や分類を病理学専門用語を用いて学ぶ。また、獣医師が処方した薬剤の作用と副作用などについての知識を有することによってカルテに記載された内容を正しく理解できる。チーム獣医療の場に必要な病名や診断名について学習し、治療方針の理解度を高めることによって疾病別の動物看護を実践できるように知識を身につける。形態機能学、病理学、薬理学、疾病看護学を包括的に学ぶことによって、臨床の現場での的確な看護、獣医師のサポートができることを目指す。

【実務経験】 荒岡 杉：獣医師として36年の実務経験。  
これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する

## 授業終了時の到達目標

体内に含まれる水分のコントロールに関与する泌尿器系について説明できる。  
繁殖に関わる発情の仕組みと動物ごとの繁殖器官について説明できる。  
内臓機能の調節に関わる内分泌器官系について説明できる。  
若齢・老齢による疾病とその看護について説明できる。

回	テーマ	内容
1	体液の調節と尿の生成①	腎臓の構造と機能
2	体液の調節と尿の生成②	糸球体の構造と機能
3	体液の調節と尿の生成③	尿細管の構造と機能
4	体液の調節と尿の生成④	傍糸球体装置、腎臓から分泌される生理活性物質について
5	体液の調節と尿の生成⑤	排尿路の構造
6	体液の調節と尿の生成⑥	尿の貯蔵と排尿
7	体液の調節と尿の生成⑦	酸塩基平衡、電解質の異常
8	体液の調節と尿の生成⑧	泌尿器の疾患①
9	体液の調節と尿の生成⑨	泌尿器の疾患②
10	性と生殖①	生殖器の基本構造① 雄の生殖器
11	性と生殖②	生殖器の基本構造② 雌の生殖器
12	性と生殖③	生殖機能調節に関わるホルモン
13	性と生殖④	発情徴候と発情周期
14	性と生殖⑤	受精と妊娠
15	性と生殖⑥	分娩

回	テ ー マ	内 容
16	性と生殖⑦	遺伝子と器官発生
17	性と生殖⑧	フェレット、ウサギ、げっ歯類、鳥類の繁殖過程
18	性と生殖⑨	生殖器系疾患①
19	性と生殖⑩	生殖器系疾患②
20	性と生殖⑪	生殖器系疾患③
21	性と生殖⑫	生殖器系疾患④
22	性と生殖⑬	生殖器系疾患⑤
23	内臓機能の調節①	内分泌について
24	内臓機能の調節②	ホルモンの生理作用について
25	内臓機能の調節③	全身の内分泌腺について
26	内臓機能の調節④	視床下部一下垂体系について
27	内臓機能の調節⑤	甲状腺と副甲状腺について
28	内臓機能の調節⑥	膵臓について
29	内臓機能の調節⑦	副腎について
30	内臓機能の調節⑧	性腺について
31	内臓機能の調節⑨	その他の内分泌腺（消化管・腎臓・胎盤）
32	内臓機能の調節⑩	内分泌系疾患①
33	内臓機能の調節⑪	内分泌系疾患②
34	内臓機能の調節⑫	内分泌系疾患③
35	エキゾチック動物の解剖と生理①	鳥類の解剖と生理
36	エキゾチック動物の解剖と生理②	フェレットの解剖と生理
37	エキゾチック動物の解剖と生理③	ウサギの解剖と生理
38	エキゾチック動物の解剖と生理④	爬虫類の解剖と生理①
39	エキゾチック動物の解剖と生理⑤	爬虫類の解剖と生理②

回	テーマ	内 容		
40	エキゾチック動物の解剖と生理⑥	魚類の解剖と生理		
41	まとめと復習 泌尿器系	泌尿器系の解剖と生理		
42	まとめと復習 生殖器系	生殖器系の解剖と生理		
43	まとめと復習 内分泌系	内分泌系の解剖と生理		
44	まとめと復習 エキゾチック動物	エキゾチック動物の解剖と生理		
45	前期末試験	前期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト2「動物のからだの構造と機能（動物形態機能学）」（ファームプレス） 動物看護コアテキスト3「動物の疾病と予防および回復（動物病理学・動物薬理学）」（ファームプレス） 動物看護コアテキスト6「動物看護の実践（動物疾病看護学）」（ファームプレス） 新・犬と猫のからだのしくみ（インターズー）		期末試験	100.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
臨床動物基本講座Ⅳ		動物看護総合学科/2年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	荒岡 杉(実務経験あり)

## 授業の概要

動物の生命維持のしくみと解剖学、および生理学の基礎を知り、生命体としての動物を理解できるようにする。動物看護において、動物がどのような状況にあり、どのような看護が必要かを知るために病変の特徴や分類を病理学専門用語を用いて学ぶ。また、獣医師が処方した薬剤の作用と副作用などについての知識を有することによってカルテに記載された内容を正しく理解できる。チーム獣医療の場に必要な病名や診断名について学習し、治療方針の理解度を高めることによって疾病別の動物看護を実践できるように知識を身につける。形態機能学、病理学、薬理学、疾病看護学を包括的に学ぶことによって、臨床の現場での確かな看護、獣医師のサポートができることを目指す。

【実務経験】 荒岡 杉：獣医師として36年の実務経験。  
これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する

## 授業終了時の到達目標

生体の防御機構について説明ができる  
動物病理学の各項目について説明ができる  
動物薬理学の各項目について説明ができる

回	テーマ	内容
1	生体の防衛機構①	外皮について
2	生体の防衛機構②	毛について 爪について
3	生体の防衛機構③	免疫系の基本的な仕組みと働き
4	生体の防衛機構④	体温調節
5	動物病理学①	細胞や組織に生じる変化
6	動物病理学②	増殖と修復
7	動物病理学③	循環障害
8	動物病理学④	炎症
9	動物病理学⑤	免疫異常
10	動物病理学⑥	腫瘍
11	動物病理学⑦	先天異常
12	動物薬理学①	薬物の取り扱い
13	動物薬理学②	動物薬理学の基礎
14	動物薬理学③	神経系に作用する薬物
15	動物薬理学④	呼吸器系に作用する薬物

回	テーマ	内容		
16	動物薬理学⑤	循環器・泌尿器に作用する薬物		
17	動物薬理学⑥	消化器に作用する薬物		
18	動物薬理学⑦	オータコイド、代謝・内分泌系の薬物①		
19	動物薬理学⑧	オータコイド、代謝・内分泌系の薬物②		
20	動物薬理学⑨	血液・免疫系に作用する薬物		
21	動物薬理学⑩	化学療法薬①		
22	動物薬理学⑪	化学療法薬②		
23	動物薬理学⑫	薬用量の計算		
24	まとめと確認①	生体の防御機構①		
25	まとめと確認②	生体の防御機構②		
26	まとめと確認③	動物病理学①		
27	まとめと確認④	動物病理学②		
28	まとめと確認⑤	動物薬理学①		
29	まとめと確認⑥	動物薬理学②		
30	後期末試験	後期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト2「動物のからだの構造と機能（動物形態機能学）」（ファームプレス） 動物看護コアテキスト3「動物の疾病と予防および回復（動物病理学・動物薬理学）」（ファームプレス） 動物看護コアテキスト6「動物看護の実践（動物疾病看護学）」（ファームプレス） 新・犬と猫のからだのしくみ（インターズー）		期末試験	100.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物感染症学 I		動物看護総合学科/2年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉(実務経験あり)
授業の概要				
<p>伴侶動物であるイヌやネコをはじめ、動物の感染症を理解することは、獣医療に関わるものとして大変重要である。主にイヌやネコに感染する微生物や寄生虫の特徴や生活環、感染経路、症状について学習し、予防と看護に活かす。感染症を予防するためには、感染症の発生機序、原因となる病原体についての理解が必要である。感染・発症の定義、感染の成り立ちについて学習し、主にイヌやネコに感染する微生物(細菌、真菌、原虫、ウイルス)について、性状と構造、分類、感染経路、病害発生の機序、予防法を学び、飼い主に感染症予防の大切さを伝えられるようにする。</p> <p>【実務経験】荒岡 杉: 獣医師として36年の実務経験。 これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する</p>				
授業終了時の到達目標				
授業概要に記載。				
回	テーマ	内容		
1	感染・感染症とは	感染、発症、感染症の定義が言えるようになる。また、感染症の経過を理解する		
2	感染症の種類	感染症の種類について学習し、それぞれの意味を答えられるようになる		
3	感染が成り立つには	感染が成立するために必要な3つの要因が言えるようになる。それに加えて、感染が成立するか否かを決める3つの力関係についても学習する		
4	微生物学	微生物の定義、その対象、性状の違いを知る 病原微生物とは何かが説明できるようになる		
5	微生物学 細菌	細菌の性状を知る 細菌の構造を知る		
6	微生物学 細菌	細菌を観察する際に行う染色について学ぶ 細菌の発育や増殖に必要な栄養素と、増殖に関わる因子を知る 細菌培養の目的と細菌の分類について学ぶ		
7	微生物学 イヌ、ネコの主な細菌感染症	イヌ、ネコの主な細菌感染症の病原菌、感染経路、症状、治療・予防を学ぶ		
8	微生物学 イヌ、ネコの主な細菌感染症	イヌ、ネコの主な細菌感染症の病原菌、感染経路、症状、治療・予防を学ぶ		
9	微生物学 真菌	真菌とは何か、その形態と増殖様式を知る 主な病原性真菌と検査法について学ぶ		
10	微生物学 イヌ、ネコの主な真菌感染症	イヌ、ネコの主な真菌感染症の病原菌、感染経路、症状、治療・予防を学ぶ		
11	微生物学 原虫	原虫とは何かを知り、その分類と増殖様式、検査法を学ぶ		
12	微生物学 イヌ、ネコの主な原虫感染症	イヌ、ネコの主な原虫感染症の病原体、感染経路、症状、治療・予防を学ぶ		
13	微生物学 ウイルス	ウイルスとは何か、その性状と分類について学ぶ ウイルスの増殖と、感染の経過について学ぶ		
14	微生物学 イヌの主なウイルス感染症	イヌの主なウイルス感染症の病原体、感染経路、症状、治療・予防を学ぶ		
15	微生物学 ネコの主なウイルス感染症	ネコの主なウイルス感染症の病原体、感染経路、症状、治療・予防を学ぶ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書第3巻(緑書房)		期末試験	100.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
各種動物学Ⅱ		動物看護総合学科/2年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	荒岡 杉(実務経験あり)
授業の概要				
<p>産業動物の歴史や品種、飼養管理法、および畜産業など社会の関りについて学ぶ。            実験動物の歴史や品種、飼養管理法、動物実験との関りについて学ぶ。            日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物について学ぶ。</p> <p>【実務経験】荒岡 杉：獣医師として36年の実務経験。            これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>産業動物の家畜化の過程、品種、体と食性の特徴、飼養管理をウシ、ブタ、ニワトリ、ウマ、ヒツジ、ヤギについてそれぞれ説明できる            動物実験、3R、主な実験動物について説明できる            野生動物について定義、保護、関連法規について説明できる。            展示動物について説明できる。</p>				
回	テーマ	内容		
1	産業動物概論	①産業動物の定義と特徴②飼養頭数③飼料自給率 ④飼養・出荷にあたっての法的規制		
2	ウシ①	①家畜化の過程②乳用牛の品種③肉用牛の品種		
3	ウシ②	ウシの体と食性と特徴		
4	ウシ③	ウシの飼養管理		
5	ブタ①	①家畜化の過程②ブタの品種		
6	ブタ②	ブタの体と食性と特徴		
7	ブタ③	ブタの飼養管理		
8	ニワトリ①	①家畜化の過程②ニワトリの品種		
9	ニワトリ②	ニワトリの体と食性と特徴		
10	ニワトリ③	ニワトリの飼養管理		
11	ウマ①	①家畜化の目的②ウマの品種		
12	ウマ②	ウマの体と食性と特徴		
13	ウマ③	ウマの飼養管理		
14	ヒツジ、ヤギ①	①家畜化の過程②ヒツジ、ヤギの品種		
15	ヒツジ、ヤギ②	ヒツジ、ヤギの体と食性と特徴		

回	テーマ	内容		
16	ヒツジ、ヤギ③	ヒツジ、ヤギの飼養管理		
17	実験動物学①	動物実験の理解と3R		
18	実験動物学②	主な実験動物とその利用		
19	実験動物学③	①遺伝的統御と微生物学的統御②カニクイザル、ラット、マウスの生理と行動		
20	実験動物学④	①実験動物の飼養管理②動物の保定の仕方③個体の管理と記録④管理者の教育と安全		
21	野生動物学①	①野生動物の定義②日本の野生動物③野生動物の現状④野生動物と環境保全		
22	野生動物学②	①野生動物の保護に関する法律②世界の取り決め		
23	野生動物学③	①負傷した野生動物の保護②野生動物の飼養管理③ペットとして飼養される野生動物		
24	展示動物①	①展示動物とは②動物園動物		
25	展示動物②	①触れ合い動物②販売動物③撮影動物		
26	まとめ①産業動物	①ウシ②ブタ		
27	まとめ②産業動物	①ニワトリ②ウマ③ヒツジ、ヤギ		
28	まとめ③実験動物	実験動物のまとめ		
29	まとめ④野生動物・展示動物	野生動物のまとめ 展示動物のまとめ		
30	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト4「動物の行動と健康管理」		期末試験	100.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
各種動物学Ⅲ		動物看護総合学科/2年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉(実務経験あり)
授業の概要				
<p>伴侶動物である犬の歴史や品種、飼養管理法、日々の関りについて学ぶ。  エキゾチック動物の基本事項、飼育管理、保定、おもな疾患について学ぶ。  アクアリウムの魚類について学ぶ。</p> <p>【実務経験】荒岡 杉：獣医師として36年の実務経験。  これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>伴侶動物となる犬、猫について説明できる。  エキゾチックアニマルについて説明できる。  アクアリウムの魚類について説明できる。</p>				
回	テーマ	内容		
1	伴侶動物学①犬	①歴史 ②品種		
2	伴侶動物学②犬	①飼育管理 ②日々の関り		
3	伴侶動物学③猫	①歴史 ②品種		
4	伴侶動物学④猫	①飼育管理 ②日々の関り		
5	エキゾチックアニマル①	ウサギ		
6	エキゾチックアニマル②	ウサギ		
7	エキゾチックアニマル③	フェレット、		
8	エキゾチックアニマル④	フェレット		
9	エキゾチックアニマル⑤	モルモット		
10	エキゾチックアニマル⑥	ハムスター		
11	エキゾチックアニマル⑦	小鳥(セキセイインコ・ブンチョウ)		
12	エキゾチックアニマル⑧	その他のエキゾチックアニマル		
13	アクアリウム①	アクアリウムの概要		
14	アクアリウム②	アクアリウムの魚類		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト4「動物の行動と健康管理」		期末試験	100.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護実習Ⅲ		動物看護総合学科/2年	2019/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	齋藤, 小松(実務経験あり)
授業の概要				
<p>1年時学習した実践能力に応用力を用いて、正確性や迅速性を身に付ける。動物の基礎情報を収集し、診療補助から始まるトータルケアの看護技術を学ぶ。飼い主から得た主訴・病歴などの情報をもとに、全身の身体検査を実施し、バイタルサインの評価・記録・獣医師への報告が行えるようになる。幼齢動物・高齢動物にみられる特有の状態や疾患を理解し、全身評価ができるようにする。それぞれの動物種と状態に応じた保定技術を身に付け、できるだけ受診動物に負担がなく、かつスムーズに診察・処置が行えるよう、サポートできるように習得する。投薬や輸液が必要なケースにおいて、機器の管理・備品の準備・正確な手技をマスターし、動物の状態観察および看護に努め、院内・犬舎・猫舎・入院舎の衛生管理に努め、滅菌・消毒・殺菌への理解を深めながら感染の予防を実践する。</p> <p>【実務経験】 齋藤小百合：動物看護師として12年の実務経験。 小松志帆：獣医師として5年の実務経験。 これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する</p>				
授業終了時の到達目標				
授業概要に記載				
回	テーマ	内容		
1	超音波 概論	超音波の仕組み・機器の操作法を学び、適切な保定ができるようになる		
2	超音波 保定	必要な画像のためのポジショニングおよび保定ができるようになる		
3	各器官系評価 概論	各器官系および外皮系の身体検査における、項目・評価について学ぶ。		
4	各器官系評価 皮膚・被毛	外皮系の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ		
5	各器官系評価 眼	眼の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ		
6	各器官系評価 耳	耳の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ		
7	各器官系評価 口腔・歯科	口腔・歯科の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ		
8	各器官系評価 筋骨格系	筋骨格系の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ		
9	各器官系評価 末梢リンパ系	末梢リンパ系の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ		
10	各器官系評価 神経系	神経系の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ		
11	各器官系評価 呼吸器系	呼吸器系の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ		
12	各器官系評価 心血管系	心血管系の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ		
13	各器官系評価 消化器系	消化器系の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ		
14	各器官系評価 泌尿・生殖系	泌尿・生殖器系の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ		
15	バイタルチェック 概論・体温	測定部位に応じた体温計を測定できる。正常値を知る		

回	テーマ	内容		
16	バイタルチェック 体温・手技	イヌ・ネコの体温を測定し、記録・報告できるようになる		
17	バイタルチェック 概論・脈拍	脈拍の測定部位を知る。正常値を知る		
18	バイタルチェック 脈拍・手技	犬猫の脈拍を測定し、記録・報告できるようになる		
19	バイタルチェック 概論・呼吸数と呼吸パターン	呼吸数の測定部位を知る。正常値を知る。異常な呼吸パターンを学ぶ。		
20	バイタルチェック 呼吸数と呼吸パターン・手技	犬猫の呼吸数・呼吸状態を把握し、記録・報告できるようになる		
21	バイタルチェック 体重測定	犬猫の体重測定ができるようになる		
22	バイタルチェック PFA	股動脈圧（PFA）の測定部位・測定法・評価法を学ぶ		
23	バイタルチェック CRT	可視粘膜の観察、毛細血管再充満時間（CRT）の測定部位・測定法・評価法を学ぶ		
24	血圧測定	血圧測定の意味と測定部位・測定法・評価法を学ぶ		
25	尿生産量チェック	尿生産の仕組みを学び、尿生産の検査方法を学ぶ		
26	動脈血酸素飽和度測定	酸素飽和度の意味と測定部位・測定法・評価法を学ぶ		
27	子犬と子猫の全身評価 概論・手技	子犬と子猫の全身評価法を学び、正常・異常の判断ができるようになる		
28	老齢動物の全身評価 概論・手技	老齢動物の全身評価法を学び、正常・異常の判断が出来るようになる。また、手技を身に付けて記録が出来る		
29	聴診法 概論	聴診法で得る情報から、正常・異常の判断ができるようになる。聴診器各部の名称と種類を知り、適切な使用法・管理ができる		
30	聴診法 名称・種類・使用法・手技・評価	聴診器各部の名称・種類を知り、正しい使用法を学ぶ。また、聴診の手技と正常・異常の評価について学ぶ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書第1巻（緑書房）、動物看護実習テキスト（インターズー）		期末試験	100.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護実習Ⅳ		動物看護総合学科/2年	2019/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	齋藤, 小松(実務経験あり)
授業の概要				
<p>これまで学習した実践能力に応用力を用いて、正確性や迅速性を身に付ける。動物の基礎情報を収集し、診療補助から始まるトータルケアの看護技術を学ぶ。飼い主から得た主訴・病歴などの情報をもとに、全身の身体検査を実施し、バイタルサインの評価・記録・獣医師への報告が行えるようになる。幼齢動物・高齢動物にみられる特有の状態や疾患を理解し、全身評価ができるようにする。それぞれの動物種と状態に応じた保定技術を身に付け、できるだけ受診動物に負担がなく、かつスムーズに診察・処置が行えるよう、サポートできるように習得する。投薬や輸液が必要なケースにおいて、機器の管理・備品の準備・正確な手技をマスターし、動物の状態観察および看護に努め、院内・犬舎・猫舎・入院舎の衛生管理に努め、滅菌・消毒・殺菌への理解を深めながら感染の予防を実践する。</p> <p>【実務経験】 齋藤小百合：動物看護師として12年の実務経験。 小松志帆：獣医師として5年の実務経験。 これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する</p>				
授業終了時の到達目標				
授業概要に記載				
回	テーマ	内容		
1	調剤 概論	処方箋に従った薬剤の準備および適切な薬剤の取り扱いを身に付ける		
2	調剤 医薬品 概論	医薬品の定義を知り、情報の必要性、薬物動態について理解する		
3	調剤 医薬品 取り扱い・廃棄	医薬品の正しい取り扱い・管理・廃棄について学ぶ		
4	調剤 処方箋・用語	処方箋と調剤用語を理解出来る		
5	調剤 種類・形状・標記	医薬品の種類を知り、薬剤の形状・標記を理解出来る		
6	調剤 薬用量計算	正確に薬用量の計算ができる		
7	調剤 手技・分包	各種薬剤の調剤法を学ぶ。分包の手技を学ぶ		
8	調剤 薬袋・説明	薬袋の記入および処方された薬の内容、記載事項の説明ができる		
9	調剤 投薬法(内服薬・外用薬)	内服薬と外用薬の投薬法の手技を身に付ける。飼い主が家庭で実践できるポイントの説明ができる		
10	創傷管理 概論・手技	創傷の分類と管理について学ぶ。創傷管理に使用する器具・保護材・手順について学ぶ		
11	包帯法 概論・手技	創傷管理における包帯法について学ぶ。包帯法の手技を学ぶ		
12	衛生管理・入院管理 概論	汚染を防ぐ入院動物の扱い方および入院舎の清掃ができる		
13	衛生管理・入院管理①	滅菌、消毒、殺菌		
14	衛生管理・入院管理②	感染、医療廃棄物処理		
15	衛生管理・入院管理③	院内清掃、犬舎・猫舎・入院舎の清掃と衛生管理		

回	テーマ	内容		
16	シリンジ・注射針 概論	シリンジの正しい扱いを身に付け、注射法の目的と違いを理解する		
17	シリンジ・注射針 種類	注射に用いるシリンジ・針の種類を知り、用途に応じた選択ができる		
18	シリンジ・注射針 手技	無菌的操作および正しい接続ができる		
19	アンプル・バイアル 概論	アンプル・バイアルの標記を読み取り、管理ができる		
20	アンプル・バイアル 手技①	アンプルを安全に取り扱い、確実に注射の準備ができる		
21	アンプル・バイアル 手技②	バイアルを衛生的に取り扱い、確実に注射の準備ができる		
22	輸液 概論	輸液の適切な接続および操作法を身に付ける		
23	輸液 留置・準備	血管確保のための血液留置における準備ができる		
24	輸液 留置・手技	手順を学び、獣医師のサポートができるようになる。留置後の衛生管理と看護動物の状態観察ができるようになる。		
25	輸液 輸液剤の種類	輸液剤の種類を知り、目的と用途を理解する		
26	輸液 準備	自動点滴装置の構造を理解し、輸液に必要な備品の準備ができる		
27	輸液 輸液手技	輸液ラインの接続および、設定ができるようになる。看護動物へのセットができる。		
28	輸液 皮下点滴準備	皮下点滴の目的と部位を理解し、必要な準備ができる		
29	輸液 皮下点滴手技	翼状針・注射針の扱い・設定・看護動物へのセット		
30	総合テスト	動物看護実習に関する理解度を確認する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書第1巻（緑書房）、動物看護実習テキスト（インターズー）		期末試験	100.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
外科動物看護学実習 I		動物看護総合学科/2年	2019/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	大平 一喜(実務経験あり)
授業の概要				
<p>周術期の術前・術中・術後において動物看護師の役割である外科手術を補助するために必要な外科看護技術を習得する。</p> <p>看護動物が安全に麻酔(手術)を遂行するためには、術前の準備として看護動物の術前評価及び状態把握の目的・意義を理解することが重要である。また麻酔が円滑に行われるためには、日ごろからの手術器具、機材の管理が必要となる。周術期における手術助手として必要な知識と技術を習得する</p> <p>【実務経験】大平一喜: 獣医師として実務経験40年。これまでの臨床経験や場면을教材とし指導する</p>				
授業終了時の到達目標				
授業概要に含まれる				
回	テーマ	内容		
1	手術補助	外科手術の流れ		
2	器具・機材の準備①	手術器具		
3	器具・機材の準備②	縫合材料(糸と針)		
4	器具・機材の準備③	ドレープ類・ガウンの意義		
5	器具・機材の準備④	電気メス		
6	器具・機材の準備⑤	器具の滅菌・管理		
7	避妊・去勢手術	外科手術を補助するための必要な基礎知識		
8	麻酔前評価	術前の患者動物の評価		
9	まとめ①	外科看護技術の修得		
10	術前の準備	手術室の準備(日常から当日まで)		
11	術者の準備①	手指の消毒法		
12	術者の準備②	ガウン・グローブ装着方法		
13	動物の準備①	術野の準備		
14	動物の準備②	ドレープのかけ方		
15	血管確保	血管確保の準備・手順		

回	テーマ	内容		
16	気道確保	気道確保の準備・手順		
17	輸液管理	輸液の準備・管理		
18	麻酔とは	麻酔の種類		
19	麻酔薬の作用	麻酔薬の作用・代謝・排泄		
20	麻酔前投与薬	麻酔前投与薬の意義		
21	鎮痛薬	鎮痛薬の意義		
22	麻酔導入	麻酔導入方法の理解		
23	吸入麻酔薬	吸入麻酔薬の意義		
24	酸素化	麻酔導入前の酸素化の意義		
25	麻酔器の構造と管理	麻酔器の仕組みの理解		
26	モニター機器の準備と管理①	ECGモニターの仕組みを理解		
27	モニター機器の準備と管理②	血圧モニターの仕組みを理解		
28	まとめ②	外科看護技術の修得		
29	麻酔のモニター①	気道のモニター		
30	麻酔のモニター②	換気のモニター		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト（インターズー） 周術期の動物看護パーフェクトナビ（インターズー） 動物看護師のための麻酔超入門（インターズー）		期末試験	100.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
外科動物看護学実習Ⅱ		動物看護総合学科/2年	2019/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	大平 一喜(実務経験あり)
授業の概要				
<p>周術期の術前、術中、術後において動物看護師の役割である外科手術を補助するために必要な外科看護技術を習得する。</p> <p>看護動物が安全に麻酔(手術)を遂行するためには、術前の準備として看護動物の術前評価及び状態把握の目的・意義を理解することが重要である。また日ごろからの手術器具、機材の管理が必要となる。周術期における手術助手として必要な知識と技術を習得する</p> <p>【実務経験】大平一喜: 獣医師として40年の実務経験。これまでの臨床経験や場면을教材として指導する</p>				
授業終了時の到達目標				
授業概要に含まれる				
回	テーマ	内容		
1	麻酔前評価	術前の看護動物の評価		
2	麻酔維持	モニタリングの目的		
3	動物のモニター①	五感を使ったモニター方法①		
4	動物のモニター②	五感を使ったモニター方法②		
5	麻酔のモニター①	換気のモニター		
6	麻酔のモニター②	酸素化のモニター		
7	血液循環	血液循環とは		
8	血液循環のモニター①	心電図モニター		
9	血液循環のモニター②	心電図モニター		
10	血液循環モニター③	血圧のモニター		
11	血液循環モニター④	血圧のモニター		
12	その他のモニター①	体温のモニター		
13	その他のモニター②	尿量モニター		
14	麻酔記録	麻酔記録の意義		
15	麻酔覚醒①	麻酔覚醒とは		

回	テ ー マ	内 容		
16	麻酔覚醒②	抜管基準		
17	麻酔覚醒③	覚醒後の患者管理のポイント		
18	術後管理①	手術後の創傷管理①		
19	術後管理②	手術後の創傷管理②		
20	術後管理③	疼痛管理		
21	術後管理④	疼痛管理		
22	術後管理⑤	アメニティ		
23	術後管理⑥	アメニティ		
24	術後管理⑦	術後の栄養管理①		
25	術後管理⑧	術後の栄養管理②		
26	術後管理⑨	看護記録と報告		
27	まとめ①	麻酔記録・術後管理のまとめ		
28	まとめ：実技試験対策	外科看護技術の修得		
29～ 30	実技試験	外科看護技術の修得		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	動物看護コアテキスト6「動物看護の実践」ファームプレス 専門分野「動物外科看護技術」インターズー	期末試験	100.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
卒業研究ゼミ I		動物看護総合学科/2年	2019/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	齋藤 小百合(実務経験あり)
授業の概要				
研究内容(テーマ)を決定し、順次研究を開始する 【実務経験】 齋藤小百合: 動物看護師として12年の実務経験。				
授業終了時の到達目標				
自分の対象とした研究分野への理解				
回	テーマ	内容		
1~4	研究内容の選定	歴代の研究内容を参考にし、自分の興味ある分野を模索する		
5~13	研究開始	自分の興味のある分野に対する研究を開始する		
14~15	中間発表	現在までの進捗度を報告する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
卒業研究予算として1000円/人		課題・レポート 出席率	50.0% 50.0%	【事前学習】卒業研究に必要なデータ収集